

忠生中学校だより

げんとう かぜ  
原頭の風

—2024年度 第5号—



2024年9月4日発行

子どもの数は命の数～生徒が主役で  
笑顔いっぱい光り輝く学校～

町田市立忠生中学校

校長 高橋 博幸



Tel 042(791)0821

Fax 042(791)6514



## 安心して学べる魅力ある仲間・クラス

校長 高橋 博幸

夏休みが終わりました。今年の夏の暑さは記録的でしたが、2学期はその暑さが残ったままのスタートとなりました。しかし、やがて実りの秋を迎え、本格的な冬の中で締めくくることがとなります。この長い2学期は、1年間の中で最も中身の濃い学期と言えるでしょう。1学期に基礎を築き、夏休みに蓄えた力を今学期のさまざまな場面で思う存分発揮してもらいたいと思います。

さて、今月号は9月2日(月)始業式のお話をご紹介します、挨拶とさせていただきます。

暑かった夏休みが終わり、今日から全校生徒がそろい、本格的に授業が始まります。登校して来る皆さんの表情をみると、穏やかな中に、意欲的なものを感じます。生活のリズムを整えて、夏休み前の生活に戻して、気持ちを新たに今日からの学校生活に取り組んでほしいと思います。しかし、「生活のリズムを整えて」と言葉で表すことは簡単ですが、行動に表すことは簡単なことではありません。ここで気になる数字があります。『19万3379人』この数字は令和4年度に全国の中学校で30日以上欠席した不登校生徒数です。出現率に直すと約6%、各クラスに不登校状態にある生徒が約2名在籍するという高い割合になっています。この数字の何割かの生徒が、夏休み明けに生活リズムが戻らず、学校を休みがちになったとも考えられます。全国の中学生の中で、約19万人の仲間が学校を休みがちになっている現実があります。皆さんは、同じ中学生として、このことをどう思いますか？本校にも学校を休みがちになっている人がいます。集団の中で学ぶことが苦手な人は、ホットルームでの個別学習や教育センターにある適応指導教室に通うなどしています。その人に合った学び方で頑張っています。知識や教養は自分に合った学び方でも身に付けることができますが、学校は集団生活を通して学ぶことも沢山あります。行事や部活動、毎日のクラスでの生活などから仲間との接し方など、これから社会に出て役立つことをたくさん学べます。

私は学校に登校しにくい状況の生徒も含め、自分自身の成長のために学び続けてほしいと思っています。そのためには、まず、一人一人の生徒が「何を目指して学ぶのか」という学びの目標をしっかりとって学校生活を送ることが大切です。そして、その思いを皆さんが共有し、互いに高め合い、学び合う仲間へ成長することが必要です。休みがちな人を含めて、安心して学び合える仲間づくり、クラスの雰囲気づくりが、豊かで深い学びにつながると 생각합니다。自分らしい自分を発揮できるクラス、自分の居場所がある魅力的なクラス、そんなクラスを仲間とともに創り上げると、皆さんの学びはより内容のある学びに発展します。一人一人が学ぶ目標をしっかりとち、**お互いに応援し合う温かな雰囲気づくり**を進めていきましょう。温かい雰囲気づくりが、登校しにくい状況の人への応援になると 생각합니다。皆さんの力で温かな雰囲気づくりを進め、全ての生徒が学校で生き生きと学べることを願っています。

最後にもう一つお話します。今年度より、忠生中学校は、東京都教育委員会の指定を受け、**人権尊重教育推進校**になりました。私は、人権とは、「誰もが安心して、自由に、平等に、幸せを追い求めることのできる権利」のことだと考えています。それと同時に、私たちは他の人とのかわりの中で生きているのですから、「他の人の人権も大切にし、皆違う個性を認め合って共に生きていくこと」が求められていると思います。簡単に言うと、「自分を大切にするとともに、他の人も自分と同じように大切にすること」だと言えます。また、日本の憲法では、「**基本的人権の尊重**」がはっきりとうたわれています。

しかし、過去の日本社会では、身分や家柄、出身部落によって差別があったり、女性が軽視されていたりと人権が無視されていた時代がありました。それを昔の人たちは、自由や権利を獲得するために闘い続け、今は、差別や偏見はなくなりつつあります。人は人種、性別、肌の色、性的志向、宗教や政治的な意見、出身地などによって、差別されては絶対にいけないのです。**人権とは「自分を大切にすること、そして、自分と同じように他の全ての人も大切にすること」**です。それは自分の命、人の命を大切にすることだと思っています。生徒の皆さんは、ぜひ、人権に関心をもって生活してほしいと思います。

◎ 部活動 ～忠生中学生、活躍してます～（敬称略）

☆吹奏楽部 都大会出場

東京都中学校吹奏楽コンクール 銀賞

Y K (3-5)	・ K Y (3-2)	・ O A (3-7)	・ N K (3-7)
Y M (3-4)	・ K Y (3-6)	・ M M (3-4)	・ M W (3-4)
H K (3-5)	・ A Y (2-6)	・ K K (2-5)	・ O I (2-1)
S M (2-3)	・ H C (2-3)	・ K Y (2-2)	・ S S (2-2)
T I (2-5)	・ K N (2-5)	・ A K (2-4)	・ S O (2-4)
T S (1-1)	・ F M (1-3)	・ S H (1-4)	
S M (1-4)	・ Y T (1-2)		



町田市立中学校連合音楽会出場



☆合唱部 都大会出場

第91回NHK全国学校音楽コンクール 東京都コンクール予選 金賞



第91回NHK全国学校音楽コンクール 東京都コンクール本選 優良賞

Y M (3-2)	・	N M (3-7)	・	I Y (3-2)	・	M M (3-7)
A M (2-3)	・	O Y (2-2)	・	K M (2-1)	・	T N (2-6)
N M (2-6)	・	M K (2-6)	・	S A (1-5)	・	S N (1-5)
S M (1-1)	・	N Y (1-4)	・	N M (1-5)	・	F M (1-2)



☆陸上競技部 関東大会入賞

関東中学校総合体育大会

男子共通走幅跳 第8位 T A (3-7)

男子共通4×100mリレー 第4位

N R (3-3)、A K (3-6)

S S (3-5)、T A (3-7)



全日本中学校通信陸上競技大会東京大会

男子共通走幅跳 第3位 T A (3-7)

男子共通4×100mリレー 第2位

N R (3-3)、A K (3-6)

S S (3-5)、T A (3-7)



第36回東京ジュニア陸上競技大会

女子ジュニア1、2年走幅跳 第7位 K M (2-1)

男子ジュニア 3年走幅跳 第1位 T A (3-7)

男子ジュニア 3年100m 第2位 A K (3-6)



## ☆硬式テニス部

多摩地区中学校テニス大会 団体戦（女子） 第4位

K M	(3-1)	・	O F	(3-2)	・	B M	(3-5)	・	K A	(3-7)
K N	(3-1)	・	K S	(3-3)	・	S M	(3-5)	・	M M	(3-7)
S M	(3-2)	・	T M	(3-3)						



### ◎ 防災訓練（引き渡し訓練）を実施しました

9月2日（月）12時より、防災訓練（引き渡し訓練）を行いました。引き渡し訓練は、災害発生時を想定し、生徒を確実に保護者へ引き渡すことを目的とする訓練です。

今回の訓練では、南関東地域で震度7の首都直下地震の発生を想定しました。「備えあれば憂いなし」の言葉にもあるように、災害等が発生した際は必ず訓練が生きてきます。大変ご多用の中、ご協力いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。



## お知らせ

### ◎ 服務事故防止スローガンが決まりました

本校は服務事故ゼロに取り組んでいます。教職員は研修で服務事故の発生状況や及ぼす影響の大きさについて配布資料に基づく校内研修等を行うとともに、一人一人を大切にする指導を心掛けています。

右のポスターは、忠生中学校の先生方で決めました。教職員の意識・啓発とともに生徒や保護者の皆さんに対して、周知が図れるよう職員室はもとより、生徒や保護者の皆さんが見やすい場所（職員室、職員室前廊下、玄関付近等）に掲示しています。



【基本方針】

- ☆ 教育目標・学校経営方針のもと、全教職員一丸となって全生徒を育てる。
- ☆ 授業を大切にし、chromebookの活用及び学習のめあての設定を重点に、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行い、知・徳・体のバランスのよい生徒を育てる。
- ☆ 教師が時代のニーズにあった研究・修養に励み自己を成長させ、意識・行動改革を図る。

【教育目標】

- ・ 知性を磨き、高い学力を付ける … 知
- ◎ 心情を培い、正しい判断力を付ける … 徳
- ・ 意思を鍛え、たくましい実践力を付ける … 体

【目指す学校像】

子どもの数は命の数 ～ **生徒が主役で笑顔いっぱい光り輝く学校** ～

【目指す生徒の姿】

**自他尊重**・**自主自律**・**自学創造**

【1】確かな学力の定着

- ◎ 生徒の学習意欲を高めるための授業改善  
→ 「身に付けさせたい力」を明確にした指導計画・評価計画に基づく意図的・計画的な授業を展開する。授業改善により、生徒一人一人の学力を向上させる授業を実践する。

【2】生活指導の充実・発展

- ◎ 組織的、系統的な生活指導の徹底  
→ 自他の生命を大切にする気持ちや人権尊重の精神を育む指導を最優先する。  
→ 生活指導部を中心に危機管理情報を校内で共有し、迅速に対応する。いじめ発生時は「学校いじめ対応チーム」をすぐに開催する。

【3】キャリア教育の充実・発展

- ◎ 自尊感情を高めるキャリア教育の推進  
→ 「ただお国際理解プログラム」として、第1学年にTOKYO GLOBAL GATEWAY、第2学年に福島ブリティッシュヒルズ、第3学年に修学旅行を体験学習として位置づける。

【4】特別支援教育への理解と実践

- ◎ すべての生徒を対象とする特別支援教育  
→ 特別支援教育コーディネーターを中心に校内委員会の充実を図り、通常の学級とサポートルーム・ホットルームの連携を強化し、組織的な校内支援体制の充実・発展を図る。

【5】校内研修の推進

- ◎ 人権尊重教育の充実及び校内研修の推進  
→ 全ての教職員が人権尊重の理念や人権課題について十分に理解し生徒へ適切な指導を行う。校内研修等で若手教員を育成する。

【6】教員・保護者・地域との連携強化

- ◎ 保護者や地域から信頼される学校づくり  
→ コミュニティ・スクール実施に伴い、学校が地域の方々と目標やビジョンを共有し、地域人材や地域環境を積極的に活用する。

【7】服務厳正の徹底（教育公務員の自覚）

- ◎ 体罰、不適切な指導、暴言等の根絶  
→ 人権教育プログラムの個別の人権課題「子ども」に基づき、子どもの人権を大切にした組織的な指導を徹底し、成績や結果を残すことのみ固執するなどの不適切指導や体罰の未然防止に努める。

【8】教職員の働き方改革を推進

- ◎ 教職員の心身の健康を保つ  
→ 各教職員の定時退勤日（週1日）及び、全校一斉定時退勤日（月1日程度）設定による心と体の健康管理を促進する。  
→ 勤務時間内に集中して仕事をこなし、仕事の質を向上させる働き方改革を心がける。